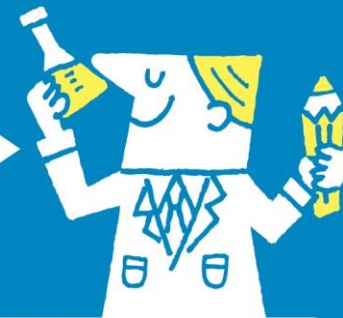


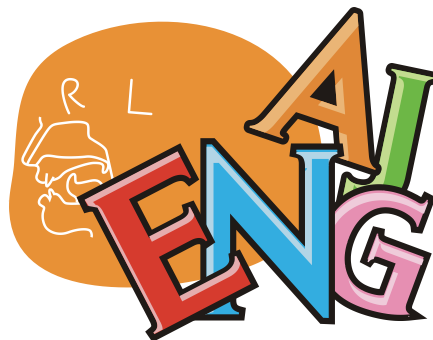
## ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 5

## E/C と T/C は何が違うのでしょうか…



「E/C 50/50 T/C 50/50 とは違うものなのではないでしょうか？」という質問を受けました。繊維業界では素材をアルファベットの略字で表わすことが慣例となっています。慣例と書いたのはちゃんとした基準があるようでないのです。

衣料品については家庭用品品質表示法という法律があるので組成表示についての規定はもちろんあります。綿 麻 ポリエステル ナイロン アクリル…という表記についてはきまりがあります。



## 様々なポリエステルの略字

所属している会社や団体ではそれぞれの取り決めをしていることもあるのですが相互間でのルールがあるわけではなく長い繊維業界の歴史の中でほぼ統一されてきたということなのです。その中でポリエステルという素材はまとまりが悪くPE P E ES T …と出てくるのです。PE はポリとエステルの頭文字 P はポリエステル E とES はエステル Tはテトロン からの略字となっているのです。

PE	<u>ポリ</u> <u>エステル</u> (頭文字)
P	<u>ポリエステル</u> (略字)
E ES	<u>エステル</u> (略字)
T	<u>テトロン</u> (略字)

TはテトロンのTなのですがテトロンというのは実は商標なのです。しかも東レさんとテイジンさんしか使っていないのです。東レテトロン テイジンテトロンが正式名です。したがってT/Cと使っているのは東レさんとテイジンさんということになります。それ以外の会社が使うと商標権の侵害ということに…そこまで厳密に市場に出回っている商品を管理していることはないのですが 大事なことなのです。

## T/C という言葉の歴史

筆者も紡績時代 合繊部隊だったので自社の商品をT/Cと呼ばれるとあまり気分のいいものではありませんでした。それだけ東レ テイジンの商品が 市場性が高かったということだったので T/Cという言葉が浸透していったのだと思います。以前は合繊8社という大手合繊メーカーがしのぎを削っていて「テトロン」という商標の使い方にはもっと気をつけていたような記憶があります。

合織8社とは 東レ クラレ 三菱レイヨン 旭化成 テイジン 東洋紡 ユニチカ カネボウ で 前述5社が合織 後述3社が紡績を母体にした会社として構成されていました。今は海外品が台頭しているので力関係も変わってきましたがT/Cというのはその頃から受け継がれてきたものなのです。

ついでに市場で流通しているポリエステル系を紹介しておきます。ポリエステルにも種類があるので。

#### i PET ポリエチレンテレフタレート

市場に出回っているほとんどのポリエステルがこのタイプのもので。

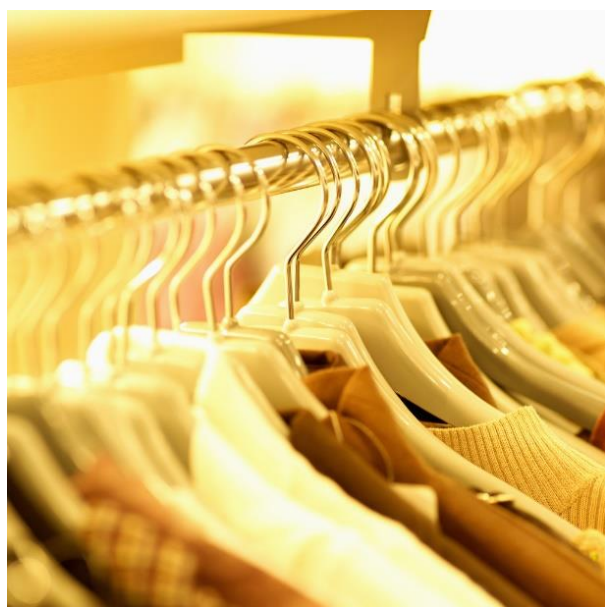
飲料容器に使われているペットボトルのペットはこの略号の PET の意味なのです。

#### ii PBT ポリブチレンテレフタレート

生産量は多くはありませんが 伸縮性に優れたタイプです。ポリエステル 100% で伸縮性を持ったストレッチ織物がこの糸を使うことで可能となりました。

#### iii PTT ポリトリメチレンテレフタレート

こちら流通量はわずかですが 伸縮性 回復性に優れていることと柔らかい素材であることが特徴になっています。天然繊維との混紡で使われることが多いです。



### まとめ

コラム冒頭の質問の答えは E/Cはポリエステルと綿の混合品でT/Cは東レ テイジンのポリエステルと綿の混合品ということになります。家庭用品品質表示法ではポリエステルが正式素材名となりますので T/Cはあくまでプライベート表記と認識しておいてください。ついでに家庭用品品質表示法は 内閣府の外局の消費者庁の管理になっています。消費者庁ができる前は経済産業省の管轄下にありました。

今回は Q & Aコラム となりました。

原稿担当:竹中 直(チョコ)

